

スマート農業推進フォーラム 2024 in 沖縄 開催要領

1. 趣旨

昨今、農業従事者の減少による生産性向上が喫緊の課題となっており、ロボット、AI、IoT技術等の先端技術を活用した「スマート農業」が効率的な農業経営や作業の省力化・軽労化を実現できるものと期待されている。

こうした中、農林水産省では、令和元年度からスマート農業実証プロジェクト等の施策を通じ、スマート農業技術の社会実装を推進しており、沖縄県内においては、南大東村でさとうきび栽培におけるスマート技術の実証などの取組が実施され、今後、他の離島地域においても自動操蛇システム等の普及拡大が期待されている。一方、県内の園芸作物でのスマート農業技術の活用はさとうきびに比べ進んでいるとは言えず、先端技術に関する情報の横展開が必要とされている。

本フォーラムでは、農業者や関係機関等を対象として、県内での実証成果の更なる普及拡大や全国で進められている園芸作物分野でのスマート農業技術の横展開を目的に、スマート農業実証プロジェクトの取組報告や情報交換等を行い農業経営の高度化とスマート化の推進を図るとともに、みどりの食料システム戦略の実現に向けた環境にやさしい技術について、併せて情報交換を行うことで、生産性向上と環境負荷低減を目指した持続可能な生産体系への転換に資するものとする。

2. イベント名

スマート農業推進フォーラム 2024in 沖縄
～生産性向上と環境負荷低減で目指す持続可能な生産体系～

3. 共催：農林水産省、農研機構九州沖縄農業研究センター、内閣府沖縄総合事務局

4. 開催日時及び場所

日時：令和6年12月10日（火）13：00～16：45
場所：沖縄県男女共同参画センターているる（沖縄県那覇市西3-11-1）

5. 議事次第

- (1) 開会・挨拶（内閣府沖縄総合事務局）
- (2) 農林水産省からの話題提供
- (3) 講演
 - ①九州・沖縄地域におけるスマート農業実証プロジェクト等の取組について（農研機構九州沖縄農業研究センター）
 - ②さとうきびスマート産地モデルの実証成果の普及について（南大東さとうきびスマート産地実証コンソーシアム）
 - ③沖縄県内におけるゼロアグリ普及状況と導入効果について ～園芸作物栽培の灌水施肥省力化と環境負荷低減～（株式会社ルートレック・ネットワークス）
 - ④土壌の保水力・保肥力を向上させる有機ポリマー（EFポリマー）の活用について（EF Polymer株式会社）
 - ⑤スマート農業普及に向けた沖縄県の取組（沖縄県農林水産部営農支援課）
- (4) みどりの技術ネットワーク地域会議（パネルディスカッション、質疑応答等）
- (5) 「農業支援サービス事業」等の取組紹介（内閣府沖縄総合事務局）
- (6) 閉会・講評（農研機構九州沖縄農業研究センター）

6. 展示等：スマート農業実証プロジェクト及びみどり戦略関係技術等に関するポスター展示等

7. 参集範囲：農業者・関係機関、スマート農業に関心のある者 等

8. 問合せ先：内閣府沖縄総合事務局農林水産部生産振興課（比嘉、兼島）Tel:098-866-1653